

吉祥寺らしさの再興—場の持つ価値を活かした再開発—

Reviving the uniqueness of Kichijoji-Redevelopment Leveraging the Value of the Place-

曾我部研究室 平賀奈月

研究概要：

吉祥寺駅前に位置するハモニカ横丁内で空き店舗等を中心に選定して更地にし、更地にした部分にMS(メガストラクチャー)を配置し、それらMSを網羅するように3層の人工地盤のような架構を既存のハモニカ横丁の真上に組んだ新たな再開発の提案。

研究目的：

都市部の再開発によって失われてしまう文化的な価値のある場を残し続けていくため、MS等を用い、新たな再開発の形で付加価値をつけ、既存建物群を後世へ残していくための提案。

研究成果：

～MSを用いた提案～

黄色一取り壊した後、MSを建てる。赤色一取り壊した後、公園とする。

黄色と赤色の建物の選定は、空き店舗やチェーン店、ビル等の比較的文化的価値が低いものを選定した。

MSの架構はMSの外形に合わせてグリッドを作成し、リッド内を筋交いで補強し、強固なものとする。

大空間

大空間

大空間

MSで人工地盤を積層させることで大空間を上空レベルに作り出すことが可能となる。

床を持ち上げる

床を吊る

MS内が空間化される

MSで床を持ち上げたり、吊ったりできることにより、自由な空間レイアウトが可能となる。

また、時代や用途に合わせた増築、減築等も可能とし、スケルトンインフィルとして新たな都市建築のあり方を提案する。

長手断面図 S=1/1200

苦労した点や感想など：

ハモニカ横丁という古くから多くの人々に愛される場所で、今あるハモニカ横丁の良さを残し、再開発の提案をすることが、非常に難しかったです。研究室の先生方の助言の元、設計を行うことができ、視野が広がり、豊かな設計ができたと感じております。